

みのんだ だより 7月号 VOL. 145

医療法人方佑会 植木病院
2024年7月1日発行



植木病院

10
ANNIVERSARY
SINCE 2014

口からと鼻からの内視鏡検査 どう違うのか解説します！！

田中 淳二 / 消化器内科
Junji TANAKA

胃内視鏡検査は、管状のスコップを挿入して、胃の内部を体外のモニターで直接観察する検査です。方法としては、スコップを口から挿入する経口内視鏡と鼻から挿入する経鼻内視鏡があります。では、これらはどう違うのでしょうか。今回はその違いについてお話します。

喉までの通り道が違う

スコップが喉（物を飲み込む所）を通して、食道、胃、十二指腸を観察するのはどちらも同じですが、喉までの通り道が異なります。

経口内視鏡は、口から挿入して舌の表面をかすめるようにして喉に到達しますが、経鼻内視鏡は、鼻腔を通して直接喉に到達するイメージです。この差は、主に患者さまが検査を受ける辛さに影響します。

胃内視鏡検査が辛い原因として、えずき（嘔吐反射）があげられます。病院で喉の奥を診てもらった時や歯科治療の時に「オエッ」とえずいてしまうことがあります。これが嘔吐反射です。

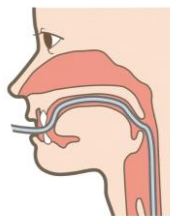
個人差は大きいですが、経口内視鏡では、スコップが舌の付け根辺りを通過する際に嘔吐反射を誘発します。経鼻内視鏡では嘔吐反射は少ない反面、鼻腔を通るために鼻の痛みやまれに鼻出血が起こります。

内視鏡の太さが違う

経口内視鏡は太さが 9～10mm、経鼻内視鏡は 5～6mm とそれぞれ太さが異なります。経鼻内視鏡は、鼻腔が狭いため、必然的に細い内視鏡が必要となりますが、この太さの違いは、患者さまの検査の辛さだけでなく、内視鏡医の操作性などにも影響します。

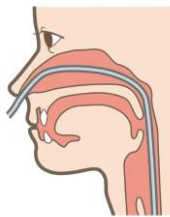
経鼻内視鏡は径が細い分、経口内視鏡と比べると画質や明るさが少し劣ります。また、胃内視鏡検査というのは、隔々まで細かく観察し、胃を膨らませたり、胃液を吸引したりとさまざまな操作を行うので、トータル的な観察力としては経口内視鏡の方が優れていると言えます。しかし、その反面、経口内視鏡は、食道入口部と言われる狭い箇所を通過する際、また通過した後も胃の中を観察する際にえずきが続き、とても苦しく辛い検査になってしまうことがあります。それに比べると、径が細い経鼻内視鏡は、検査全体を通してより楽に受けることができ、身体への負担も少ない内視鏡と言えます。

経口内視鏡と経鼻内視鏡を比較した場合のメリット・デメリット



経口内視鏡

- メリット
内視鏡の解像度が良く、操作性にも優れ、より精度の高い検査が受けられる
- デメリット
えずきなどの苦痛や体への負担が大きい



経鼻内視鏡

- メリット
えずきなどの苦痛や体への負担が少ない
- デメリット
鼻の痛みやまれに鼻出血が起こる
鼻腔が狭く挿入ができない場合がある

植木病院からのお知らせ

外来診察枠の縮小に関して

2024年7月1日（月曜日）より、外来診察枠が下記のとおり変更となります。

- 1 整形外科・田村裕一医師の退職に伴い、同医師が担当していた整形外科の外来診察枠が閉鎖となります。
- 2 夜診の受付時間が
17時30分から19時30分に変更になります。
- 3 水曜日の夜診を閉鎖いたします。
- 4 内科・藪田医師の夜診診察枠が月曜日に移動となり、河本医師の夜診診察がなくなります。

ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

受付・診察時間のご案内

午前診

受付 8:30～11:45
診察 9:00～

※整形外科は月曜日、水曜日、金曜日が休診

夜診

受付 17:30～19:30
診察 18:00～

※水曜日夜診は休診

※循環器内科の夜診はありません

では、経口・経鼻内視鏡のどちらが良いのか

これはよく聞かれるのですが、個々の患者さまによって異なります。

経口内視鏡で辛い経験がある方や、症状もなく検診（健診）でできるだけ楽に検査を受けたいなどという方は、経鼻内視鏡がおすすめです。経鼻内視鏡は画質などが劣るとはしましたが、病変を早期発見するための機能は十分に持ち合わせています。また、より精度の高い検査を希望されるという方、検診（健診）で要精査と判定された方、胃がんのリスクが高い方は、経口内視鏡検査の方をすすめられますが、この場合、鎮静剤を注射し、軽く眠った状態で検査を行うことで、苦痛を軽減する方法がございますので、安心して検査を受けてください※。

胃内視鏡検査は、症状がなくても受けていただきたい重要な検査です。「苦しいから」などといって敬遠することなく、定期的に受けるようにしてください。

※鎮静剤を注射しての胃内視鏡検査は、堺市胃がん検診では行っておりません。